



USB MIDI CONTROLLER

VCM-100

取扱説明書

P.1 ~

OWNER'S MANUAL

P.24 ~

〒154-0023

東京都世田谷区若林1-18-6

電話 03-3412-7011

Web : www.vestax.jp

ファックス 03-3412-7013

Vestax Corporation

1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan

Phone +81(0)3-3412-7011 Fax +81(0)3-3412-7013

Web : www.vestax.com

Vestax Europe Technical Support

Rheinstr.213 D-53332 Bornheim Germany

Phone 49(0)2222-95-23-72 Fax 49(0)2222-95-23-74

この度は、Vestax VCM-100 USB MIDI& オーディオシステムをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。本機の性能を最大限に発揮させると共に、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂きますよう御願い致します。

目 次

ご使用上の注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
1.最低システム必要条件	5
2.インストールの方法と操作方法	6
3.各部の名称と機能	16
4.トラブルシューティング	19
5.MIDI MAP	20
6.主な仕様	21
7.保証とアフターサービス	23

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上の注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまないように注意）が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

VCM-100は、30年にわたるプロ機器のメカトロニクス技術を凝縮して作り上げられたコンパクトなUSB MIDI & オーディオシステムです。High Quality Mechanical Partsを使ったコントローラー部と、4in4out (Stereo x 2 in/out)、ヘッドフォン出力を備えた高性能オーディオI/O機能を搭載。コンパクトで頑丈なメタルボディで、使いやすい、持ち運びも便利で、シンプルなデザインを実現しました。

- USB MIDI IN/OUTにより、様々なソフトウェアの約40種類のパラメーターを、VCM-100のコントロールにアサインする事が可能です。
 - VCM-100とコンピューター間の信号のやり取りを確認できるDATA SEND LEDを装備しています。
 - モノラル4 in/ Stereo 2 out (Master out L,R, Monitor/Booth out L,R)、ヘッドフォンモニター出力を搭載。加えて、オーディオコーデックICは、ハードウェア・サンプル・レート・コンバータを内蔵し、デルタ・シグマ変換 20ビット・ステレオ D/A コンバータと18ビット・ステレオ A/D コンバータ により、高品質のオーディオ品質を実現しました。
 - DRIVERソフトウェアについては、ESI (Ego systems Inc)社製のASIOドライバーを採用。DAWアプリケーションや DJ アプリケーションにおいて優れたローレイテンシーと高いパフォーマンスで動作させます。(Windows 標準のWDM ドライバーで使用する場合には 2 In2OutのUSB オーディオデバイスとして認識されます。DTM アプリケーション等でマルチインマルチアウトを使用する場合にはASIO ドライバーで使用して下さい。)
 - MAC・WINDOWS共に、シンプルなプラグアンドプレイでの使用が可能です。
 - 電源は、USBのバスパワーを使用するか、専用アダプターを使用するか選択する事が出来ます。(USBハブ等を使用する場合や、コンピューター自体の電源容量が十分ではない場合は、安定動作のためにも専用アダプターをご使用ください。)
 - ネイティブインストルメント社のソフトウェア ” TRAKTOR LE” がバンドルされ、VCM-100専用のコントロールアサインメントファイルが同梱されているので、ソフトウェアを持っていない人もすぐにコンピューターリミックスを楽しむことができます。
 - MIDIによるコントロールアサインのできるソフトウェアには、全て対応可能です。又、それぞれのソフトウェアに最適化するために、VCM-100のファームウェアも3種類搭載し、切り替えて使用することが可能です。
- ※今後、各社のソフトウェアに対応するMIDIのコントロールアサインメントサンプルファイルを順次ホームページにて公開する予定です。
- スリム&コンパクトにまとめ上げられたメタルボディは、高剛性を誇り、持ち運びに便利です。

1.最低システム必要条件

a) <オペレーティングシステム>

● Windows

Windows XP のService Pack 2以降で動作します。Windows 2000/98/Meはサポートしておりません。

ご注意：Windows2000Professionalに接続すると、ブルースクリーンが出て、コンピューターがフリーズする可能性が高いので、絶対に接続しないようにしてください。

● Macintosh

Mac OS X 10.3.9/10.4.7以降をサポートします。それ以前のバージョンはサポートしておりません。

同時に2つ以上のソフトウェアで一つのコントローラーを使用するマルチクライアント環境はサポートしておりません。

b) <ハードウェア>

● Windows

CPU：Pentium III 500MHz（ノートパソコンではこれ以上の高速なCPUが必要です）

Memory：256MB以上のRAM

USB 2.0/1.0 Interface

● Macintosh

CPU：Macintosh G3600 / G4 667MHz（ノートパソコンではこれ以上の高速なCPUが必要です）

Memory：256MB以上のRAM

USB 2.0/1.0 Interface

- ・この最低システム必要条件は、VCM-100本体ハードウェアの必要条件です。お使いになるソフトウェアの最低システム必要条件が、VCM-100のシステム必要条件より高い場合は、ソフトウェアの最低システム必要条件以上を満たすハードウェアをご用意ください。
- ・MacintoshのCPUアクセラレータ・カードはサポートされておりません。コンピュータにUSB端子が搭載されている必要があります。
- ・コンピュータのサウンドデバイスが、YAMAHA AC-XG Audio Deviceの場合、動作しない可能性がありますのでご注意ください。

※上記条件を満たしていても、全てのコンピュータ及びデバイスでの動作を保証するものではありません。

2.インストールの方法と操作方法

VCM-100は高解像度でクリアな音声信号伝達を行います。必要最低限のシステムでも動作に問題はありませんが、本機の性能を最大限に発揮するにはより高性能なシステムでの使用を推奨します。

(1) Windows XPの場合

1:VCM-100の後面の電源セレクタースイッチを切り替えます。専用ACアダプターを使用する場合は、"AC ADAPTOR"へ、専用ACアダプターを使用せずにコンピューターのUSB端子から供給される電源を利用する場合は、"USB POWER"へ切り替えます。

2:VCM-100とコンピューターをUSBケーブルにて接続します。

VCM-100のPOWER LEDが点灯し、JOGホイール、コントロールスイッチのLEDが点灯します。

Windows XP上では、"新しいハードウェアが見つかりました。"とメッセージが表示され、[Vestax PC-CONTROLLER] [USB複合デバイス] [USBオーディオデバイス] のドライバーが自動的にインストールされます。(2回目以降の接続やすでにドライバーがインストールされている場合には、上記メッセージが表示されない場合もあります。)

ご注意：VCM-100はUSB接続するとき、MAYA44ドライバーをコンピュータにインストール後に、接続していたUSBポートと異なるポートに接続すると再生ができなかったり、MIDIコントローラーが効かなくなる場合があります。VCM-100を接続する際は常に同じUSBポートで接続することを推奨します。

3:正常にインストールされた場合には、VCM-100の各コントロールを動かすと"Data send"LEDが点滅し、VCM-100よりコントロール信号が送出されていることが確認できます。

4:Windows XP上での確認方法は、「コントロールパネル」>「システム」>「ハードウェア」>「デバイスマネージャー」で、USB コントローラーの項目の中に、「USB複合デバイス」(プロパティで "場所 Vestax PC-CONTROLLER")、サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラーの項目の中に、「USB オーディオデバイス」(プロパティで"場所 Vestax PC-CONTROLLER")が表示され、デバイスの状態が、「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていれば、コンピューターとVCM-100のハードウェア同士の接続は正常に行われています。

(2) Macintoshの場合

- 1: VCM-100の後面の電源セレクタースイッチを切り替えます。専用ACアダプターを使用する場合は、"AC ADAPTOR"へ、専用ACアダプターを使用せずにコンピューターのUSB端子から供給される電源を利用する場合は、"USB POWER"へ切り替えます。
- 2: VCM-100とコンピューターをUSBケーブルにて接続します。
VCM-100のPOWER LEDが点灯し、コントロールスイッチのLEDが点灯します。
ご注意：VCM-100はUSB接続するとき、MAYA44ドライバーをコンピュータにインストール後に、接続していたUSBポートと異なるポートに接続すると再生ができなかったり、MIDIコントローラーが効かなくなる場合があります。VCM-100を接続する際は常に同じUSBポートで接続することを推奨します。
- 3: 正常にインストールされた場合には、VCM-100の各コントロールを動かすと"Data send"LEDが点滅し、VCM-100よりコントロール信号が送出されていることが確認できます。
- 4: Macintosh上での確認方法は、「アプリケーション」>「ユーティリティ」>「Audio MIDI設定」>「MIDI装置」のウィンドウ内に、"Vestax PC-CONTROLLER"が表示され、プロパティを見ると、
装置名：Vestax PC-CONTROLLER
製造元：Vestax
機種：Vestax PC-CONTROLLER
上記表示が確認できれば、コンピューターとVCM-100のハードウェア同士の接続は正常に行われています。

(3) ソフトウェア

VCM-100を使用するには、MIDIに対応したソフトウェアが、お手持ちのコンピューターにインストールされている必要があります。本製品には、あらかじめVCM-100のコントロールが割り当てられた、Native Instruments社のTRAKTOR 3 LEが、バンドルされています。もし、DJソフトウェアが無い場合には、システム条件を確認の上、任意でTRAKTOR 3 LEのマニュアルに従ってインストールして下さい。

(4) ドライバのインストール

本機をコンピューターと接続後、OSが自動的に本機を新しいハードウェア・デバイスとして認識します。Windows XP、Mac OS Xをご使用の場合、自動的に正しいUSBオーディオ・ドライバがインストールされます。Windows XPをご使用の場合はページ9を、Mac OS Xをご使用の場合はページ12を参照してください。

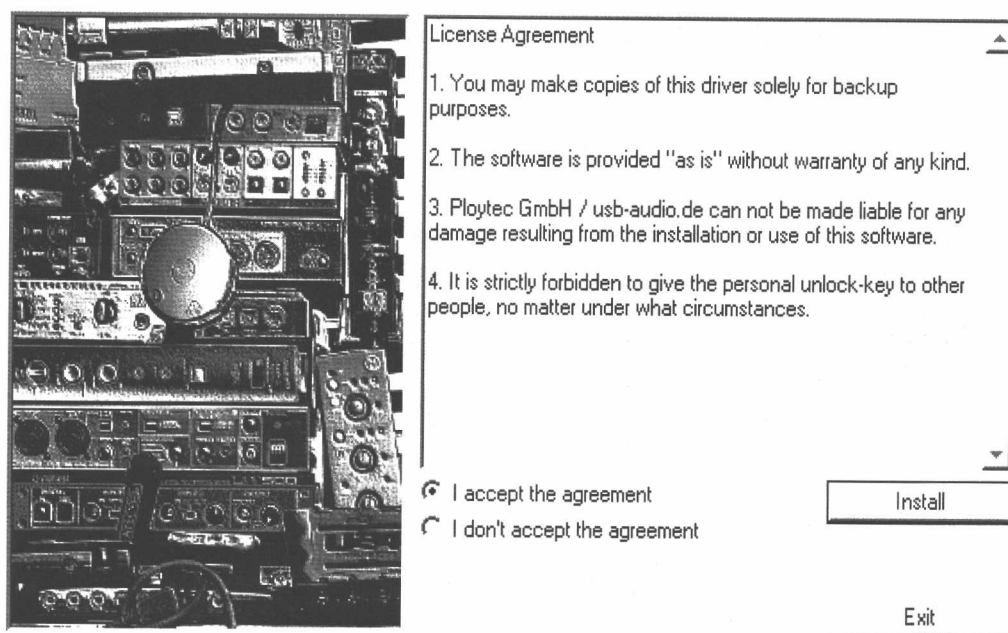
ご使用のソフトによってはASIOドライバを必要としないものもございます。
(Windows XP : DJソフトウェアなど / Mac OS X : Garagebandなど)

ASIO対応ドライバのインストール – Windows XP

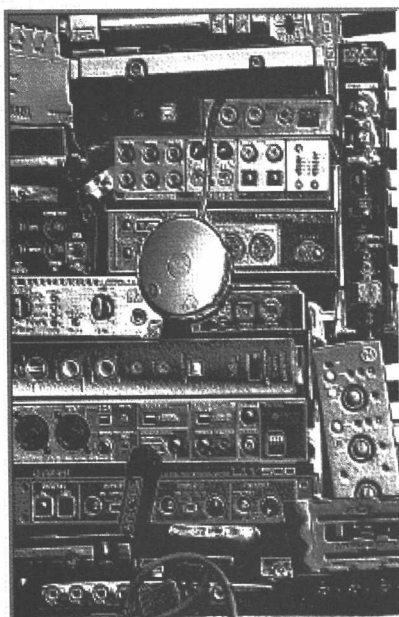
本機を接続していない状態で付属CD-ROM内のESI/MAYA44USBフォルダを開きsetup.exeを開きます。インストール言語を選択するとつぎのアイコンが表示されます。



「Install the driver」（ドライバをインストールする）を選択します。次の画面が表示されます。



「I accept the agreement」（ライセンス規約に同意する）を選択し、「Install」をクリックします。

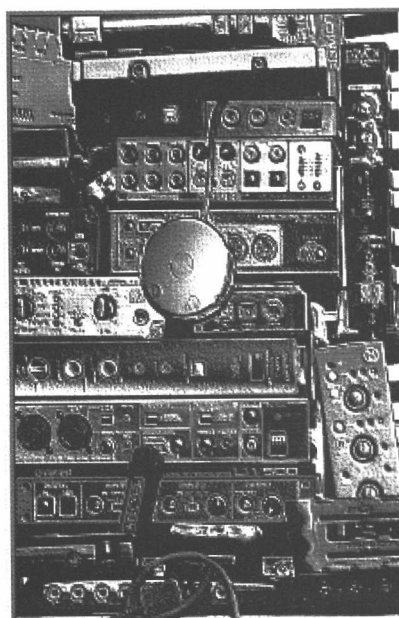


Please plug your USB audio device now to the computer if it's not already connected. This might take a while.



Exit

本機をUSBで接続します。本機の認識に多少時間がかかる場合がございます。

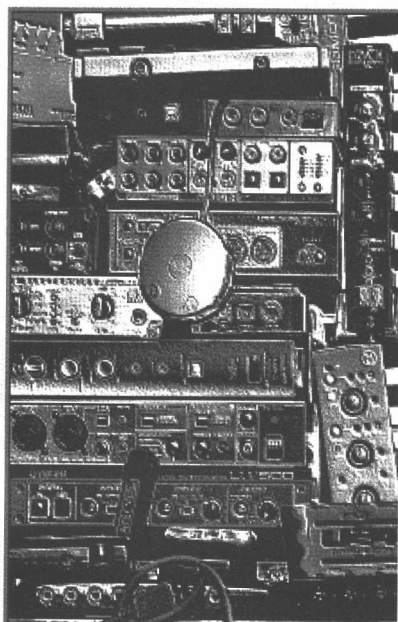


Please unplug your USB audio device, then replug it to your computer.



Exit

上図のメッセージが表示された場合、本機の接続を解除し、表示が変わったら接続しなおしてください。



Engineers: Werner Wirsum, Markus Medau

Copyright: 2000 - 2005 Ploytec GmbH

Thanks to: Erik Gorouben, Aya Denma, Thomas Zept,
Uwe Minning, Klaus Frauenholz, Charlie, Irina, all the
great folks of the companies we work with and of
course to you for using our software.

The installation completed successfully.
It's not necessary to reboot.

Exit

インストールが終わると上記のメッセージが表示されます。「EXIT」を押して完了します。

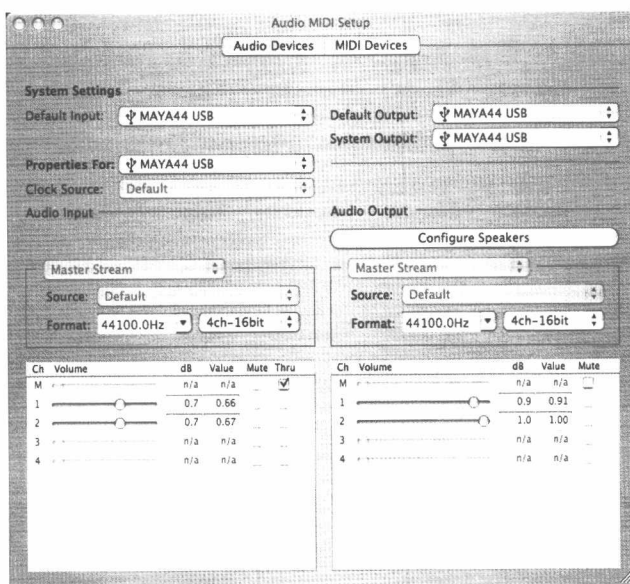
これでASIOドライバのインストールが完了しました。

ASIOドライバをアンインストールするにはsetup.exeを開き、「Uninstall the driver」を選択します。

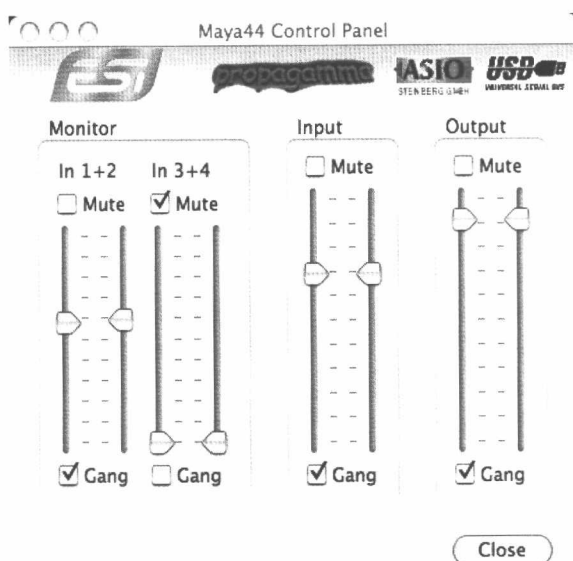
(5) オーディオインターフェースの設定

Mac OS X

本機をMacコンピュータに接続後、オーディオMIDIセットアップ・パネルを開きます。
デフォルト・インプットとデフォルトアウトプットのデフォルトオーディオデバイスとして
MAYA44USBを選択します。



MAYA44USBコントロール・パネルを付属CD-ROMからドラッグして、お使いのMac OSXで
開いて下さい。



コントロール・パネルの操作はページ14を参照してください。

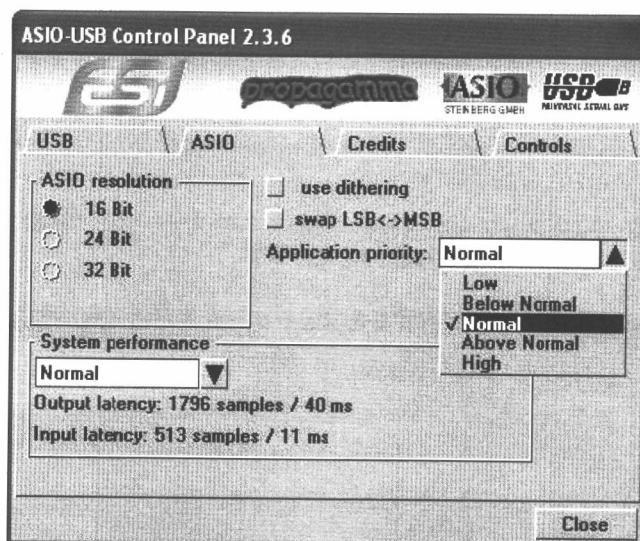
Windows (XP)

ASIOコントロール・パネル

ASIO対応ソフトウェアの中のオーディオ・デバイス設定メニューを開きます。

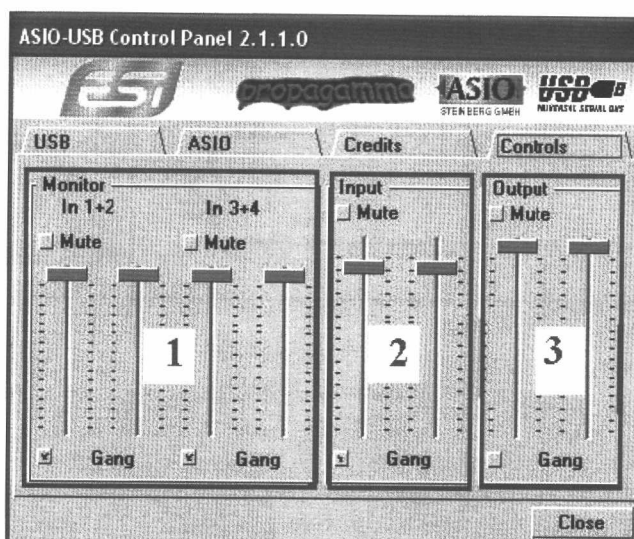
「ASIO Control Panel」ボタンをクリックしASIOコントロール・パネルを開きます。
このコントロール・パネル内でASIOの各種設定を行います。

(ASIOコントロール・パネルはASIO対応ソフトのメニュー内からしか開けません)



「System Performance」の設定によってバッファ値とレイテンシー値が変わります。設定を高くすると、その他のオーディオ・デバイスのパフォーマンスに影響する場合がございます。

ASIOコントロール・パネルの「Control」タブを開くと下図のウィンドウが表示されます。



モニター入力レベル、入力レベル、出力レベルを「Control」画面内でコントロールすることができます。

コントロールパネルの操作

1. モニター・レベル・コントロール

入力モニター・レベルをコントロールします。入力チャンネル1,2の音声信号をモニターすることができます。入力モニター・レベルで調整したレベルは実際の入力レベルに影響しないので、入力モニター・レベルをミュートしても録音が可能です。

2. 入力レベル

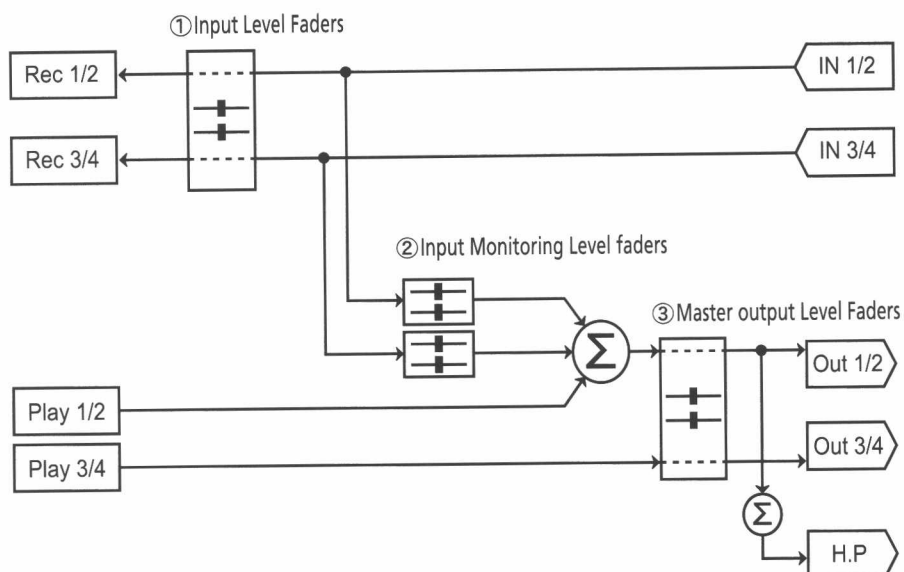
入力レベルをコントロールします。それぞれのフェーダーで各入力を調整できます。

3. 出力レベル

出力レベルをこのフェーダーでコントロールします。それぞれのフェーダーで各出力を調整できます。ヘッドホン出力はアナログ1,2CHのみの出力となります。

フェーダー下にある「Gang」ボックスを選択するとフェーダーをまとめて動かすことが可能になります。

ブロック図



操作の手順

- 1)ソフトウェアが、コンピューターとオペレーションシステムに正常にインストールされて、完全に機能する事を確認します。
- 2)コンピューターとVCM-100のハードウェア同士の接続が正常に行われている事を確認します。
- 3)ソフトウェアがVCM-100を使用するよう設定されていることを確認します。ソフトウェアのプリファレンスを起動し、ソフトウェアがVCM-100から送信されるMIDIデータを受信するよう設定されていることを確認します。
- 4)この時、必ずコンピューターとVCM-100のハードウェア同士の接続が正常に行われている事を確認した後で、ソフトウェアを起動して、ソフトウェアとVCM-100の設定を行うようにして下さい。ソフトウェア起動後にハードウェアを接続すると、VCM-100がソフトウェアに認識されない事がありますのでご注意ください。
- 5)コンピューターが省電力状態になった場合、再度立ち上がったときの動作は保証できません。省電力設定は「なし」の設定にしてお使い下さい。

多くのDJソフトウェア（Native Instruments Traktor, M-AUDIO Torq, Ableton Live6, Mixvibes 等）には、MIDI LEARN（学習）機能が搭載されています。この機能は、VCM-100のボタンやボリュームをソフトウェア内の特定のパラメータをコントロールするように簡単に割当てることができるものです。

VCM-100は、この機能を装備する全てのソフトウェアをコントロールすることができます。

MIDI LEARN機能は、ソフトウェアにより設定方法が異なるため、この機能の使用方法はソフトウェアの取扱説明書を参照して下さい。

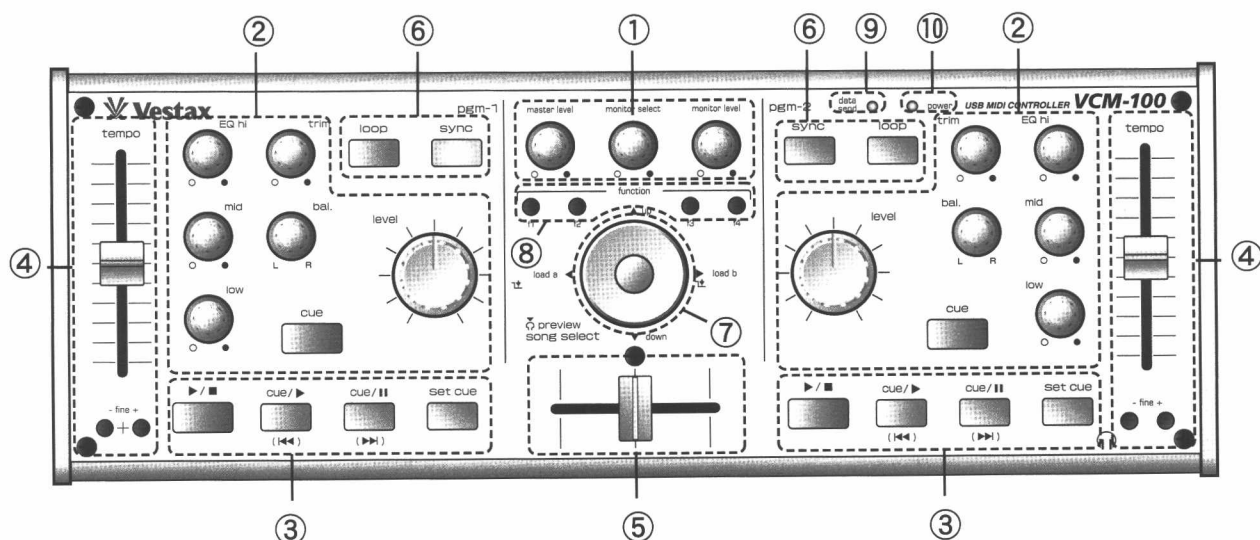
使用するソフトウェアがこの機能をサポートしない場合には、VCM-100 のボリューム、ボタンにより生成される特定のMIDI CC データをソフトウェア側で手動で設定することができます。これに関しては、ソフトウェアの取扱説明書を参照して下さい。

ご使用されるソフトウェアによって、MIDI OUT機能の無いものがあります。その場合、VCM-100のファンクションに、ソフトウェアの機能を割り当てられないものもあります。

（例：TRAKTOR 3.0は、MIDI OUT機能が無いため、操作KEYのLEDのOFF信号がVCM-100に送出されないため、画面上のデッキは再生が停止しても、プレイKEY LEDが点灯したままの状態になります。TORAKTOR 3.2の場合は、MIDI OUT機能があるため、画面上動作とVCM-100のLED表示が一致します。）

3.各部の名称と機能

各部の名称と機能は、最も使い易いと思われるデフォルトの設定で、それぞれのスタイルに合わせて自由に変更できます。



トップパネル

①マスター・モニターセッション

3つのボリュームコントロールをソフトウェアのマスター部、モニター部に割り当てができます。

Rotary volume : 3pcs

②PGM チャンネルセッション

EQボリュームやINPUTボリューム等をソフトウェアのミキサー部に割り当てができます。

Rotary volume : 5pcs

Large rotary volume : 1pce

Lighting square push SW : 1pce

③デッキコントロールセッション

PLAY/PAUSE、CUE-PLAY、SET CUE等をデッキ部のコントロールに割り当てができます。

2 color lighting square push sw : 4pcs

④ピッチコントロールセッション

ピッチコントロールをフェーダーボリュームやスイッチに割り当てができます。

45mm fader volume : 1pce

small push SW : 2pcs

⑤クロスフェーダー

ソフトウェアのクロスフェーダーに割り当てができます。

45mm fader volume : 1pce

⑥ソースコントロールセクション

ループサンプルやピッチに合わせて制御する機能の割り当てができます。

Lighting square push SW : 1pce

2 color lighting square push SW : 1pce

⑦カーソルセクション

ファイルの選択や決定等の機能の割り当てができます。

Lighting square push SW : 4方向のカーソル移動とエンターキーを想定しています。

⑧ファンクションアサインセクション

VCM-100ご使用時、お気に入りの機能をSWに割り当てができます。

Small push SW : 4pcs

初期設定

f1 - PGM1 巻き戻し

f2 - PGM1 早送り

f3 - PGM2 巻き戻し

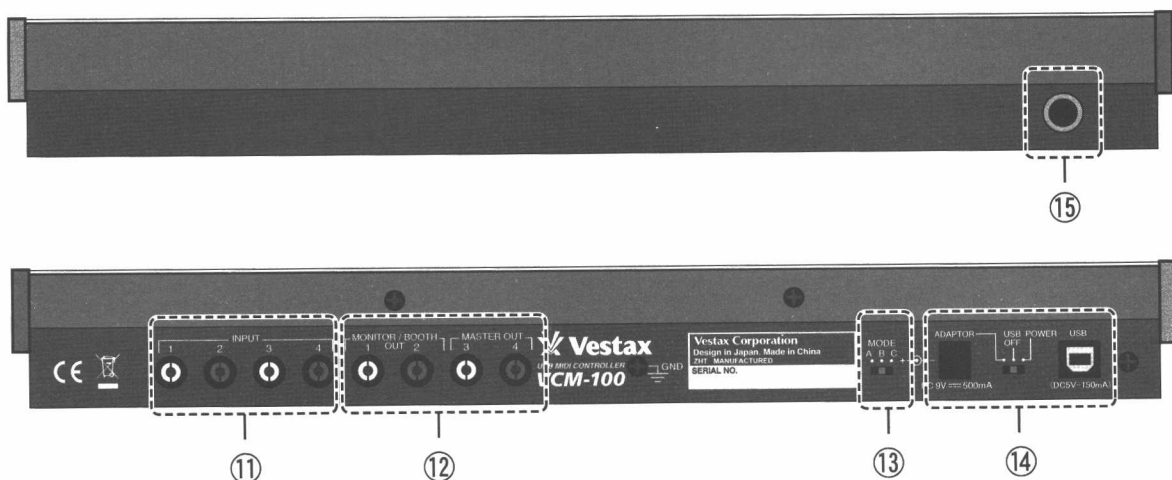
f4 - PGM2 早送り

⑨データセンド

VCM-100のボリュームやスイッチ等のコントロールを操作したとき、それらをMIDIコントロール信号に変換してVCM-100からコンピュータに正確に送信されている時に点灯します。このLEDが点灯しない場合は、電源もしくは本体ハードウェアに異常やパーツの消耗が起こった事がわかります。

⑩電源LED

専用ACアダプター(別売)又はUSBバスパワー供給時に点灯します。



フロント・リアパネル

⑪RCA入力部

LINE入力4チャンネル割り当てができます。

⑫RCA出力部

LINE出力4チャンネル割り当てができます。

(出力チャンネル3、4に関しましては、モニター出力がされていないので、モニターする場合出力チャンネル1,2をご使用ください)

⑬MODE切り替えスイッチ

A、B、Cそれぞれに割り当てられたソフトウェアを切り替えることが出来ます。

A・・・TRAKTORソフトウェア用の設定となります。TORAKTOR使用時はスイッチをAに設定してください。

B・・・一般的に使われるMIDIコントローラー設定となります。それぞれにアサインさせてご使用ください。

C・・・設定はされておりません。

⑭電源スイッチ部

VCM-100の電源スイッチです。専用のACアダプターを使用する場合は、“AC ADAPTOR”へ、コンピュータのUSB端子から供給される電源を利用する場合は、“USB POWER”へ切替えます。

⑮ヘッドフォン出力端子

ヘッドフォンでモニターする場合、ヘッドフォンを端子に差し込んでください

4.トラブルシューティング

A)コンピューターがVCM-100を認識しない。

初めに、音楽や映像ソフトウェアを使って、ミックスや編集を行う時には、お使いのコンピュータに複数のUSB機器を接続するのは出来る限り避けることを推奨します。USBは、信頼できるプロトコルですが、音楽や映像マルチメディア・ソフトウェアはコンピュータのプロセッサやUSBバスに相当な負担をかけます。単一のUSB端子に複数の機器を接続することは理論的に可能ですが、それによりお使いのハードウェアやソフトウェアに複雑な問題を引き起こすことがあります。

- 1：コンピューターがVCM-100を認識しない場合まず最初に、接続されているUSB機器の数を減らして認識するかどうかを確認して下さい。
- 2：ハードウェアのタブを選択しデバイス・マネージャーのボタンをクリックします。
サウンド、ビデオ、ゲーム・コントローラの横にある「+」のサインをクリックし、「USB Audio Device」の横に「?」または「!」が付いている場合、VCM-100 の接続を外してデバイス・マネージャーのウインドウのリストから「USB Audio Device」が消えるか確認します。消える場合には、VCM-100 をコンピュータの別のUSB 端子に接続し、再度「USB Audio Device」が表示されて「?」または「!」が消えるかどうか確認します。
- 3：DJ ソフトウェアがVCM-100 を使用するよう設定されていることを確認します。ソフトウェアのプリファレンス又は、コントロール設定部を起動し、ソフトウェアが「USB Audio Device」を認識して、VCM-100 のMIDI送信データを受信するよう設定されていることを確認します。
- 4：USBケーブルが適切に接続されていることを確認します。
- 5：USBハブを使用している場合、VCM-100 をコンピュータのUSB端子へ直接接続して問題が解決するか確認します。

B)コンピューターから音が出ない。

コンピューター上のコントロールパネルの音量が[MUTE]、又は最小になっていないことを確認してください。RCAケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。ソフトウェアをご使用の場合、ソフトウェアの設定で本製品をオーディオデバイスでセッティングされているかどうかを確認してください。

C)VCM-100を接続すると音が出ない。

VCM-100のコントロールとソフトウェアのコントロールが間違っって割り当てられている可能性があります。全てのボリューム、フェーダーを動かし、マスターアウトやクロスフェーダー、モニターボリューム等のレベルが、ゼロになっていないかを確認し、又、MUTEコントロールがどこかのスイッチに割り当てられていないかを確認してください。

5.MIDI MAP

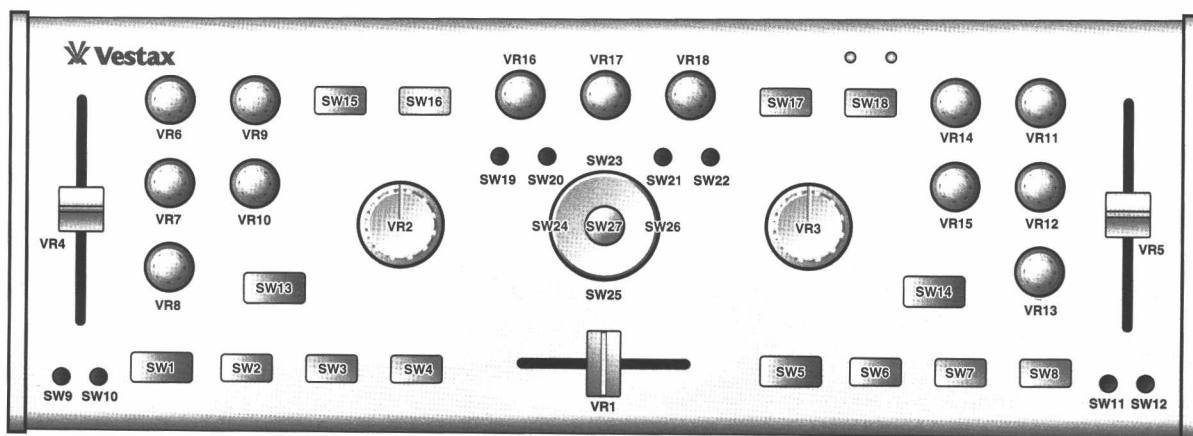
コントロール			MIDI MODE A		MIDI MODE B/C	
PGM-1	SW 1	PLAY/STOP	NOTE	50 32(HEX)	NOTE	50 32(HEX)
PGM-1	SW 2	CUE PLAY	NOTE	51 33(HEX)	NOTE	51 33(HEX)
PGM-1	SW 3	CUE PAUSE	NOTE	52 34(HEX)	NOTE	52 34(HEX)
PGM-1	SW 4	SET CUE	NOTE	53 35(HEX)	NOTE	53 35(HEX)
PGM-1	SW 13	CUE	NOTE	72 48(HEX)	NOTE	72 48(HEX)
PGM-1	SW 15	LOOP	NOTE	66 42(HEX)	NOTE	66 42(HEX)
PGM-1	SW 16	SYNC	NOTE	70 46(HEX)	NOTE	70 46(HEX)
PGM-1	SW 10	FINE +	NOTE	78 4E(HEX)	NOTE	78 4E(HEX)
PGM-1	SW 9	FINE -	NOTE	79 4F(HEX)	NOTE	79 4F(HEX)
PGM-1	VR 4	TEMPO	CC	14 0E(HEX)	CC	14 0E(HEX)
		TEMPO Center	NOTE	12 0C(HEX)		
PGM-1	VR 6	EQ HI	CC	20 14(HEX)	CC	20 14(HEX)
		EQ HI Center	NOTE	14 0E(HEX)		
PGM-1	VR 7	EQ MID	CC	21 15(HEX)	CC	21 15(HEX)
		EQ MID Center	NOTE	15 0F(HEX)		
PGM-1	VR 8	EQ LOW	CC	23 17(HEX)	CC	23 17(HEX)
		EQ LOW Center	NOTE	17 11(HEX)		
PGM-1	VR 9	TRIM	CC	28 1C(HEX)	CC	28 1C(HEX)
		Center (0dB)	NOTE	24 18(HEX)		
PGM-1	VR 10	BAL.	CC	30 1E(HEX)	CC	30 1E(HEX)
		BAL Center	NOTE	22 16(HEX)		
PGM-1	VR 2	LEVEL	CC	12 0C(HEX)	CC	12 0C(HEX)
PGM-2	SW 5	PLAY/STOP	NOTE	54 36(HEX)	NOTE	54 36(HEX)
PGM-2	SW 6	CUE PLAY	NOTE	55 37(HEX)	NOTE	55 37(HEX)
PGM-2	SW 7	CUE PAUSE	NOTE	56 38(HEX)	NOTE	56 38(HEX)
PGM-2	SW 8	SET CUE	NOTE	57 39(HEX)	NOTE	57 39(HEX)
PGM-2	SW 14	CUE	NOTE	73 49(HEX)	NOTE	73 49(HEX)
PGM-2	SW 18	LOOP	NOTE	67 43(HEX)	NOTE	67 43(HEX)
PGM-2	SW 17	SYNC	NOTE	71 47(HEX)	NOTE	71 47(HEX)
PGM-2	SW 12	FINE +	NOTE	80 50(HEX)	NOTE	80 50(HEX)
PGM-2	SW 11	FINE -	NOTE	81 51(HEX)	NOTE	81 51(HEX)
PGM-2	VR 5	TEMPO	CC	15 0F(HEX)	CC	15 0F(HEX)
		TEMPO Center	NOTE	13 0D(HEX)		
PGM-2	VR 11	EQ HI	CC	24 18(HEX)	CC	24 18(HEX)
		EQ HI Center	NOTE	18 12(HEX)		
PGM-2	VR 12	EQ MID	CC	25 19(HEX)	CC	25 19(HEX)
		EQ MID Center	NOTE	19 13(HEX)		
PGM-2	VR 13	EQ LOW	CC	27 1B(HEX)	CC	27 1B(HEX)
		EQ LOW Center	NOTE	21 15(HEX)		
PGM-2	VR 14	TRIM	CC	29 1D(HEX)	CC	29 1D(HEX)
		Center (0dB)	NOTE	26 19(HEX)		
PGM-2	VR 15	BAL.	CC	31 1F(HEX)	CC	31 1F(HEX)
		BAL Center	NOTE	23 17(HEX)		
PGM-2	VR 3	LEVEL	CC	13 0D(HEX)	CC	13 0D(HEX)
GLOBAL	SW 19	F1	NOTE	74 4A(HEX)	NOTE	74 4A(HEX)
GLOBAL	SW 20	F2	NOTE	75 4B(HEX)	NOTE	75 4B(HEX)
GLOBAL	SW 21	F3	NOTE	76 4C(HEX)	NOTE	76 4C(HEX)
GLOBAL	SW 22	F4	NOTE	77 4D(HEX)	NOTE	77 4D(HEX)
GLOBAL	SW 23	UP	NOTE	92 5C(HEX)	NOTE	92 5C(HEX)
GLOBAL	SW 24	LOAD A	NOTE	96 60(HEX)	NOTE	96 60(HEX)
GLOBAL	SW 27	PREVIEW	NOTE	94 5E(HEX)	NOTE	94 5E(HEX)
GLOBAL	SW 26	LOAD B	NOTE	97 61(HEX)	NOTE	97 61(HEX)
GLOBAL	SW 25	DOWN	NOTE	93 5D(HEX)	NOTE	93 5D(HEX)
GLOBAL	VR 16	MASTER	CC	7 07(HEX)	CC	7 07(HEX)
GLOBAL	VR 17	MONITOR SELECT	CC	89 59(HEX)	CC	89 59(HEX)
		Center (50%/50%)	NOTE	26 1A(HEX)		
GLOBAL	VR 18	MONITOR LEVEL	CC	88 58(HEX)	CC	88 58(HEX)
GLOBAL	VR 1	CROSS FADER	CC	8 08(HEX)	CC	8 08(HEX)

*Note1 MIDI channel : No button is pushed when Power On = MIDI ch1

Push [PGM-1 LOOP] when Power On = MIDI ch2

*Note2 NOTE : MIDI note on/off 9n(HEX) SW On : Value=127 , SW Off : Value = 0

*Note3 CC : MIDI Control Change Bn(HEX) VR min - max : Value= 0 - 127



6.主な仕様

電源電圧：9V

消費電力：150mA

専用アダプター：DC 9V 500mA（別売）

外形寸法：350(W)×134(D)×40(H)（mm）突起部を除く

重 量：1.8 kg

- 製品の仕様、外観、システム環境条件は改良のため予告なく変更する場合があります。
- Vestax はVestax Corporationの登録商標です。
- ここに記載されている他のすべての商標または登録商標はそれぞれの所有者に属します。

HARDWARE

1. Interface
 - USB spec version 1.1
 - USB audio class spec version 1.0

ANALOG AUDIO

1. Sample Rates
 - 44.1kHz, 48kHz
2. Analog Input
 - 1) connector type: 4 channel analog inputs
 - * 4 RCA connectors (line in 1 and 2)
 - 2) -10dBV input level, unbalanced
 - 3) impedance: 10K Ohm
4. Analog Output
 - 1) connector type: 4 channel analog line outputs
 - * 4 RCA connectors (line out 1 and 2)
 - 2) -10dBV output level, unbalanced
 - 3) impedance: 100 Ohm
4. Headphone Amplifier
 - 1) THD+N/S: -70dB, 0.03% (typical)
 - 2) output power: 60mW max
 - 3) signal to noise ratio: 110dB (typical)

DIGITAL AUDIO

1. Sample Rates
 - 44.1kHz, 48kHz
2. A/D Converter
 - 1) resolution: 18-bit
 - 2) dynamic range: 85dBA
 - 3) frequency response: 20~20KHz (@ fs=48kHz)
3. D/A Converter
 - 1) resolution: 20-bit
 - 2) dynamic range: 87dBA
 - 3) frequency response: 20~20KHz (@ fs=48kHz)
4. Digital Output
 - 1) connector type: miniplug optical connector
 - 2) format: IEC-958 Consumer (S/PDIF)
 - 3) resolution: 16-Bit
 - 4) sample rates: 44.1kHz, 48kHz

DRIVER SOFTWARE

1. ASIO 2.0 support (Windows)
 - 4 input channels / 4 output channels
2. CoreAudio support (Mac OS X)
 - 4 input channels / 4 output channels
3. MME/WDM support (Windows)
 - 2 input channels / 2 output channels

7.保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性の迂愚品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は通産相の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

●製品の仕様の問合せ及びサポート

TEL : 03-3412-7011 (9 : 30AM~17 : 30PM)

E-mail : ask@vestax.jp

web : <http://www.vestax.jp>

●修理に関するご相談並びにご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

●バンドルされているソフトウェアに関するサポートは、一切行っておりません。ソフトウェア会社のユーザーサポートへお問い合わせ下さい。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示下さい。
保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理を行えば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りの必要な場合はあらかじめお伝え下さい。

お買い上げの日

お買い上げ店名

電話 () -

CONGRATULATIONS !

Thank you for purchasing the Vestax VCM-100. Please read through the users manual thoroughly to use the VCI-100 safely and at its best performance.

CONTENTS

Precautions for use	24
Safety Concerns	25
Features	26
1.Minimum system requirement	27
2.Install and Operations	28
3.Part names & Functions	38
4.Trouble shooting	41
5.MIDI Map	42
6.Specification	44



CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN



**CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK)
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL**



The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.